

指定管理評価表(記念公園)

平成31年3月31日現在

施設概要	記念公園(尼崎市西長洲町1丁目4番1号) 開館時間: 総合体育館 9:00~21:00 (休館日:月曜日、年末年始) 陸上競技場、補助陸上競技場、野球場、テニスコート 8:00~21:00 (休館日:年末年始) 施設設置目的: 広く体育、スポーツの振興を図ることにより、住民の心身の健全な発達と、明るく豊かな地域社会の発展に寄与する 事業内容: 公園(総合体育館、陸上競技場、および野球場等有料公園園施設を含む)の管理運営			
指定管理者の名称	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団			
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日			
業務概要	有料公園施設(付属設備の利用を含む。)の利用の予約受付(許可、取消し) 公園内においてする行為の許可及びその取消し 公園内においてする行為及び有料公園施設の利用に係る使用料の徴収、減免及び還付に関する業務 公園の施設及び付属設備の維持管理業務			
利用状況等	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	貸室利用者数	145,431 人	139,539 人	133,967 人
	貸室稼働率	82.8 %	84.9 %	79.6 %
	自主事業開催数	618 回	536 回	472 回
自主事業参加者数	7,883 人	7,516 人	8,217 人	
所管課・所管課長名	都市整備局土木部公園維持課・春田 孝文			
評価対象期間	平成30年4月1日~平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	記念公園の特性を活かした事業を実施し、スポーツ振興に努めている。また、市民参加型の「花植え事業」を継続実施するとともに、新規事業として、「速くなるかけっこ教室」を開催し、324人が参加した。今後も、新たな自主事業を積極的に実施するとともに、分析評価を行うことでさらなる内容の充実を図って欲しい。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	日常の施設保守・管理により、不具合箇所を把握。優先度に応じた積極的な修繕が実施されている。総合訓練を継続実施、緊急時の危機管理マニュアルも備えている。台風被害後も、初期対応を迅速に行うことで、施設閉鎖を最小限に努めた。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		A	節電への取り組みである常時点灯箇所のLED照明化を積極的に実施している。(次年度には完了予定)
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		A	会計手続きは適切に行われており、財務諸表はホームページで公開されている。経営状況はおおむね良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書類、帳簿、資料等は適切に管理されており、毎月開催している経営会議において事業評価を実施している。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・レインボースポーツスクールの充実 ・公園に親しみを感じてもらいイベントの開催 ・スポーツの関心向上とともに施設の利用促進を図る ・記念公園のPRにより、新たな利用者の獲得	自主事業である「レインボースポーツスクール」については、適宜プログラムを見直すことで、利用者ニーズに対応している。そのほか、市民参加型の「花植え事業」を継続実施するとともに、新規事業として、「速くなるかけっこ教室」を実施した。また、体育の日には、スポーツフェスティバルを開催するなどし、記念公園が広く市民に利用された。 独自発行している情報誌やホームページにより積極的に広報活動を行うとともに、施設の空き状況に応じて、企業や幼稚園等に施設の利用を促すなどし、施設の有効活用を図っている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	利用者満足度調査のほか、窓口にご意見BOXを常設するなど広く意見の収集を図った。また、利用者要望を受け、改善に向けて努力するとともに、接遇面強化のための全体研修、各担当係内のミーティングにより、更なるサービス向上に努めている。また、点検チェックシートを用いた施設点検により不具合箇所を適切に把握し、施設保全のために積極的な補修・修繕が実施された。記念公園については、年間の利用者数が100万人を超える複合施設であり、多様なニーズへの対応と、竣工から30年以上が経過し、施設の老朽化が著しい状況の中でも、安心・安全な施設運営が求められる。引き続き、職員のスキルアップを図るとともに、利用者ニーズに沿った事業計画の実施と、計画的な補修・修繕を実施して欲しい。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。
 ※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
 ※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。
 D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。